

令和6年度 環境部 経営計画書

職・氏名	経 営 方 針	経 営 資 源			
環境部長 難波 彰生 	●使命 私たち環境部は、「人と自然が織りなすしあわせ実感都市 瀬戸内」の実現にむけて、第2次瀬戸内市環境基本計画において、市の将来像とする「豊かな自然と快適な暮らしが調和するまちづくり」を、市民、事業者との協働により推進します。 ●基本方針 ① 新火葬場の整備を着実に推進します。 ② 地球温暖化防止対策(ゼロカーボンシティの実現)を推進します。 ③ ごみの減量化・資源化など、循環型のまちづくりを推進します。 ④ 自然とのつながりを感じる郷土・里海づくり、飼い主のいない猫の繁殖抑制など、環境保全のための対策を推進します ⑤ 消費者被害を防止して、安全安心なまちづくりを推進します	所 管 課	生活環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、消費生活センター		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			14人	16人	30人
		一般会計	2,237,515 千円		
		特別会計	千円		
		計	2,237,515 千円		
		(うち人件費)	(153,185 千円)		

重点項目		内容	成果目標	進捗状況(3月末)
1	新火葬場の整備の推進	・岡山市との広域整備に係る基本協定に基づいて、新火葬場の建築工事を進めます。また、新火葬場完成後の管理手法を決定するなど、業務の開始に向け必要な準備を進めます。	・令和6年度内の完成に向けて、新火葬場の建築工事を進めます。 ・12月までに新火葬場の管理運営を行う業者の選定を行います。	・建築工事は3月24日に完成検査が完了し、引き渡しを受けました。 ・管理運営を行う指定管理者の選定が完了し、4月1日の供用開始に向けての準備が整いました。
2	地球温暖化防止対策の推進	・重点対策加速化事業を活用して市内の電力消費の脱炭素化を推進します。	・住宅用脱炭素推進補助を行い、市内の電気消費による二酸化炭素の排出削減に取り組めます。 太陽光発電補助 目標 100 件 蓄電池補助 目標 80 件 電気自動車補助 目標 2 件 充放電設備補助 目標 1 件 高効率空調補助 目標 130 件 高効率給湯器補助 目標 50 件 ・事業者用脱炭素推進補助を行い、市内の電気消費による二酸化炭素の排出削減に取り組めます。 太陽光発電補助 目標 650 kW	・住宅用脱炭素推進補助の交付実績は、次のとおりです。 太陽光発電補助 38 件 蓄電池補助 29 件 電気自動車補助 0 件 充放電設備補助 0 件 高効率空調補助 263 件 高効率給湯器補助 49 件 ・事業者用脱炭素推進補助の交付実績は次のとおりです。 太陽光発電補助 73 kW

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3 月末)
2	・脱炭素先行地域づくり事業「漁村農村から始める、地域で経済が循環する瀬戸内モデル」の実現に向けて、各種取組を推進します。	蓄電池補助 目標 90kWh 電気自動車カーシェア補助 目標 1 件 充放電設備補助 目標 1 件 高効率空調補助 目標 30 件 ・瀬戸内市民電力株式会社との連携により、公共施設 3 件に太陽光発電設備等を新たに設置します。 ・公共施設の LED 化と高効率空調を 8 施設に導入します。	蓄電池補助 11.5kWh 電気自動車カーシェア補助 1 件 充放電設備補助 1 件 高効率空調補助 10 件 ・瀬戸内市民電力株式会社による PPA 事業として、次の3か所の公共施設への太陽光発電設備等設置工事が完了しました。 ①クリーンセンターかもめ ②長船衛生センター ③玉津コミュニティセンター ・公共施設の LED 化は次の3施設で実施しました。 ①福田保育園 ②牛窓東小学校 ③地域生活支援センタースマイル 公共施設の高効率空調導入は、次の 6 施設で実施しました。 ①邑久保育園 ②長船西保育園 ③裳掛小学校 ④市立美術館 ⑤備前長船刀剣博物館 ⑥地域生活支援センタースマイル

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
3 ごみの排出抑制や循環型社会施策の推進と環境関連施設の適正な維持管理	・ごみの減量化・資源化を推進します。 ・長船クリーンセンターの解体工事を進めます。	・ごみの分別についての啓発活動を行います。出前講座と広報紙での啓発を行い、令和5年10月時点で約5,500件だったごみ分別アプリのダウンロード件数を1000件増加させ、6,500件とします。 ・「プラスチック製容器包装」と、「プラスチック製品」を「プラスチック資源」として一括処理できる体制を3月までに確立します。 ・生ごみ処理機購入補助事業の促進を行い、ごみの減量を図ります。 目標 45件 ・ごみ処理手数料の見直しを検討します。検討委員会を設置し、12月までに検討案を示します。 ・令和6年度において長船クリーンセンターの解体工事を完了します。	・出前講座を5回、広報せとうちへの啓発記事掲載を2回行ったことにより、ごみ分別アプリのダウンロード件数は6,604件となりました。 ・令和6年度当初の段階では、令和7年度からプラスチック資源の一括処理を開始する予定でしたが、全ての分別品目を対象として、ごみの減量化・資源化について抜本的に見直す方針としたことから、開始時期を令和8年度に変更しました。 本年度は、循環型社会づくり等推進検討委員会を3回開催し、プラスチック資源を含む資源ごみ分別回収の具体的な方針を検討しました。 ・交付実績は32件です。 ・循環型社会づくり等推進検討委員会を3回開催し、ごみ分別のあり方等と併せて、ごみ処理手数料に関する協議を行い、検討案を示した上で、具体的な方針を決定しました。 ・3月21日に解体完了しました。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
4 生活環境の保全	・飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、糞尿等による生活環境被害を防止し、併せて市民の動物に対する愛護意識の高揚を図ります。 ・河川の水質保全に向け、下水道計画区域外における合併処理浄化槽の整備を推進します。 ・海を起点とした環境保全への取り組みとして『地域おこし協力隊』の活用による小中学生をはじめとした市民を対象とした環境学習の機会を増やします。 ・生活環境を保全するため、地域の環境悪化の要因となる、ばい煙、汚水、騒音、悪臭等を防止します。	・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助を行い、繁殖を抑制します。 目標 450 匹 ・合併処理浄化槽の設置を進めます。特に汲取り・単独浄化槽から合併浄化槽への転換を推進します。 目標 90 基 うち転換目標 20 基 ・5 回以上の環境学習の機会を提供します。 ・苦情等があった場合には、状況に応じて、適切な指導を行います。	・交付実績は 382 匹分です。 ・交付実績は 67 基分です。 なお、このうち汲取り・単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換は 16 基分です。 ・6 月に開催した「環境フェスタ」において、子どもを対象とした海の生物と触れ合えるコーナーを設け、市内に生息する貴重な海洋生物の展示と解説を行いました。 環境フェスタは約 250 人の参加があり、多くの子どもたちに環境学習の機会を提供することができました。 ・苦情等に対応した内容は次のとおりです。 野焼き 14 回 悪臭 2 回 騒音 3 回 その他(土地の適正管理等)48 回

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
5 消費者被害の防止	・消費者被害に遭わないための消費者教育を推進します。また、詐欺被害に遭いやすい高齢者の方に啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。	・消費者被害にあわないための豆知識を広報紙やホームページに掲載します。また、出前講座により、詐欺被害に遭いやすい高齢者の方に啓発を図ります。 掲載の目標 10回 出前講座目標 6回 ・特殊詐欺の主な被害者である高齢者に対し、防犯機能付き電話機の購入費の一部を補助し、特殊詐欺の被害防止を図ります。 目標 30台	・広報せとうちへの啓発記事掲載回数は12回です。また、出前講座の開催回数は9回です。 ・交付実績は24台です。